



令和8（2026）年度



塩尻市コミュニティ・スクール ナビゲーター

令和8年5月①

塩尻市CS 11年目！

1 11年目の一歩

塩尻市コミュニティ・スクール(CS)は、今年で第6期、11年目を迎えました。

昨年度末に「CS 実践集 2025」を作成し、今年度の第1回学校運営協議会（学運協）の折に、委員の皆さんにお配りしました。今回の実践集は特別版として10年間を各中学区3校で一冊（榎川小中と両小野学園で一冊）にまとめました。これまで積み重ねてきた活動を振り返ると、学校と地域が「できること」を一つずつ話し合い、共に歩んできた重みを改めて強く感じます。その土台に学運協委員の皆さん、地域教育協議会（地教協）のボランティアの皆さん方お一人お一人ができることでお力を引き継いでくださったからこそ今があり、また、今年度の取り組みがこれから2年3年、5年後につながっていくと感じています。

そして、この第1回学運協では「学校運営協議会（学運協）」と「地域教育協議会（地教協）」の活動をさらに活発にするため、取り組みの目安となる「しおり」を新しく作成しました。このしおりは、毎年積み上げを実感しながらアップデートしていく予定です。今年1年取り組んでいく中で「もっとこんなことが必要では?」「こんなことも感じている」等皆さんのお考えを聞きながらつくっていかねばと思っています。

2 塩尻市コミュニティ・スクール推進上の本年度の柱と取組

**「対話」「参画」「発信」で
元気な 学運協 を積み上げよう！**

① 対話(熟議・話し合い・会話)

年4回の会議に参加し、学校の様子を知り、地域と学校で何ができるかを一緒に考えます。子どもに関わるあらゆる大人の会話を「対話」と捉え、気軽に話せる対話の中身や対話する相手を広げていきましょう。

② 参画(実際の活動)

会議の中だけでは見えないこともあります。可能な範囲で学校や子どもたち、地域の「生の姿」に触れながら活動に参加してください。皆さんが現場で感じたことこそが、今後の活動の原動力になります。

③ 発信(地域へ広げる)

CS は、まだ地域にも浸透しきれていません。皆さんの立場に関わる人との身近な会話の中で、CSの取り組みを話題にし、CSを多くの方に伝えてください。この地域の大人は誰でもCSに関わることができます。関わる大人の輪を広げることも大切です。

😊 学校独自に工夫をした取組が積みあがってきています。昨年度よりも少しでも工夫できること、やれそうなこと、できるところから楽しみながらやってみましょう。

3 今年度の取組の可能性

昨年度の第2回CS連絡協議会の折に話題にしましたが、改めて、可能性として取り上げておきます。何か次につなげられそうなものは、試みてください。

① 「CS」を合言葉に！

学校支援ボランティア→CS ボランティア、学校支援コーディネーター→CS コーディネーター、各校の取り組みをCS活動 というように、学校支援という言葉をやめ、「CS」を合言葉に、協働・参画を進めます。

② 文部科学省から先生方の働き方改革推進が出され、その中で、学校運営協議会で協議される内容の一つとして「**先生方の業務量管理、健康確保の措置の実施**」に関することも含めていくことになりました。校長先生は解決したい具体的な課題を適切に提示・共有し、CS懇談会、小委員会、学校運営協議会で共に対話し、理解・解決していくことで、CSの質の高めていきます。

③ 学運協委員の皆さんやボランティアの皆さんの**連絡方法としてLINEを使った方法**を試みていきます。すでにLINEやメールで連絡をしている学校もありますが、LINEオープンチャットやLINEスクール連絡帳を取り入れ始めている学校もあります。やり始めた学校の情報を共有しながら無理のないペースで郵送からの移行を進めていきます。(CS連絡協議会の皆さんへの連絡方法もLINEを使っていければ…と考えています。)

④ より多くの方に「CS」を知っていただき、関わっていただくために

高ボッチ高原FMのパーソナリティさんからご協力いただき、塩尻市のCSを発信する場をつくっていただけるようにしていきます。**会長さん方から取組の楽しさを発信**していただけないでしょうか。

⑤ 発信の場「塩尻市CS&公民館フェスタ」

子ども達の地域を視野にした探究的な学びの姿、そこに関わる大人の学び、様々な大人の学びの中から生まれる地域づくり等、**2月13日(土)**に行われる「塩尻市CS&公民館フェスタ」を学びの発信の場として活用してください。

また、「**広報塩尻**」12月号でもCSを取り上げます。こちらも含めて市内のどの学校にも発表、掲載の機会をつくっていかれるよう、相談していきます。

⑥ 市内共通で取組につながる情報を共有します！

- ・安全見守りの形をより多くの方に気軽に参加していただけるように、散歩やウォーキングにからめて見守りをしながら、健康ポイントも増やしていけるようにする「**しおじり健康応援ポイント事業**」を活用します。

- ・「読書活動」充実のために、**読み聞かせボランティアの学びの場**をつくっていきます。

😊 改めて、CS連絡協議会委員の皆さんのご意見が塩尻市という視点でのCSの方向を考え、進める大事な立ち位置になると感じています。自校の取り組みを通して、塩尻市という広い視点を通して、気軽に対話し、発信し、共有し合いながら、次の一歩につなげていけるようご協力、よろしく願いいたします。